事例No.	1933
公表年度	R4
団体の属性	中核市
団体名	愛知県豊田市

事例区分	公営企業

タグ	・と畜場事業 ・公共施設活用 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	民営化等

事例内容・タイトル

と畜場の民営化

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【愛知県豊田市】と畜場の民営化

民営化等 と畜場事業

愛知県豊田市産業部農政企画課

取組の概要

市の財政負担を軽減するとともに、効率的な経営を実現するため、と畜場の民営化を行った。

◆総事業費　全体事業費 50,000千円の内数

◆背景

- 豊田市の食肉センターでは、市内の畜産農家の減少による年間処理頭数の減少等の影響を受け、使用料収入が減少し、財源を他会計繰入金に依存する状態が続いていた。
- この課題を解決するため、公営企業として事業を継続していく必要性について検討することとした。

◆具体的内容

- 将来的な民間譲渡に向けて、食肉事業協同組合を指定管理者に指定し、利用料金制を導入した。
- 指定管理を経て、土地及び建物設備を食肉事業協同組合に貸与し、と畜場の運営を民営化した。

◆効果

- 処理頭数を減少させることなく、一般会計からの繰入金を削減することができた（約20,000千円/年）。
- 民間のノウハウを活用した、豚の集荷に合わせた柔軟な開設日・休日の設定等によって、サービスを向上した。
- 長期的な収支見込みに基づいた計画的な投資等によって経営を健全化した（修繕費約16,000千円/年に対応できる計画）。

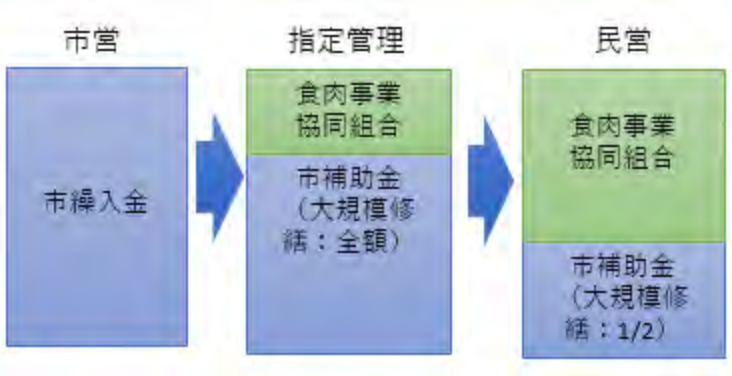
取組のポイント

- 円滑な民営化への移行のために、民営化の前段階として指定管理者制度を活用した。
- 民間事業者の負担を軽減するため、土地・建物設備を無償貸与をした。
- 民間事業者の経営健全化のため、大規模修繕に対して、一般会計による補助を実施した。
- 民間事業者の主体的な動きによる民営化を図るため、民間事業者中心の委員会で民営化に向けた議論を行った。

公営企業情報

- 行政区域内人口　419,048 人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　918.32km^2（令和4年1月1日時点）
- 年間処理頭数　77,938頭（平成26年度決算）

財源負担のイメージ



取組のスケジュール

- 平成20年度に民営化の検討を開始。
- 平成24年度に指定管理者制度を導入。
- 平成27年度に運営を民営化。

今後の展望

- 現在実施している土地及び建物設備の無償貸与から、譲渡への切り替えに向けた検討を行う。
- 施設建替時の市の財政負担のあり方について検討を行う。